

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 ウッドワン

上場取引所 東

 コード番号 7898 URL <https://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 野口 貴博

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

**1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,346	12.4	1,545	22.7	1,358	37.5	803	28.5
2020年3月期第3四半期	49,460	4.9	1,259	96.5	987	905.2	625	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,403百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 229百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.10	86.07
2020年3月期第3四半期	67.00	

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	88,399	39,604	43.7
2020年3月期	80,688	36,497	44.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 38,618百万円 2020年3月期 35,656百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.75		18.75	37.50
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,900	10.5	1,700	12.4	1,200	18.2	600	27.6	64.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	9,841,969 株	2020年3月期	9,841,969 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	511,397 株	2020年3月期	511,054 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,330,772 株	2020年3月期3Q	9,331,437 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的規模で感染が拡大し続けている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、個人消費や企業活動が著しく制限されたことで景気が急速に悪化し、厳しい状況が続きました。2020年5月の緊急事態宣言解除後は政府の様々な経済支援策もあり、経済活動の回復に向けた動きはあったものの、11月以降の第三波と見られる急激な感染拡大から、依然、先行き不透明な状況が続いています。

住宅業界においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などから新設住宅着工戸数が減少し、当社グループの主力販売分野である持家や分譲戸建住宅の着工数も前年同期に比べ減少しました。住宅会社各社の受注状況は2020年8月頃から回復傾向にありましたが、11月以降の第三波と見られる感染拡大により、今後の国内住宅市場の落ち込みの程度やさらなる回復に向かう時期などは不透明な状況にあります。

当社グループでは、新しい市場であるリフォーム、非住宅、商環境施設や海外市場に向けて新たな商品を開発し、新たな生産・販売体制及び仕組みで既存の新築市場の動向に左右されない企業体質を目指す中、販売面でのグローバル展開として、ニュージーランド子会社は、当社グループ工場向けの生産数量を確保した上で外販の促進を行い、インドネシア子会社は、さらなるインドネシア国内市場の開拓と欧州等の海外販路開拓を進めています。

全世界に影響を与えている新型コロナウイルス感染症の感染拡大という新たな課題の解決に向けて、生産、供給面においては海外子会社を含めたサプライチェーンの一層の強化を、販売面においてはニューノーマル（コロナ禍後の新常態）を見据えた新たな営業プロセスとして従来の「訪問型営業」に「オンライン型営業」を加え、顧客接点の増強や営業生産性の向上を図っています。また、ITツールの整備、活用、定着化を進め、生産性の向上や経費削減に努めながら、テレワークや時差出勤、就業場所の分散などにも柔軟に対応しています。

2020年12月には、住宅や商業施設などの建築をご検討されるすべてのお客様に対して「無垢の木のぬくもりある暮らし」を提案する当社のコーポレートサイト「商品情報紹介ページ」をリニューアルしました。また、ウッドワンプラザ金沢にて建築家の伊東豊雄氏を審査委員長として「木のぬくもりを活かした空間」をテーマに、「ウッドワン空間デザインアワード2020」を開催しました。本コンテストは、昨年に引き続き4回目で、年々無垢商品群が採用された応募作品が増えるなど、当社のブランド力の向上にも寄与しています。

当第3四半期連結累計期間は、2020年5月の緊急事態宣言解除以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け延期されていた建築工事が徐々に再開したものの、外出自粛要請中の受注活動の低迷等による新設住宅着工の減少が影響し、前年同期に比べ売上高は減少しました。こうした市場環境において、日本国内の工場は感染防止対策を行った上で通常稼働する中、政府の経済支援策も活用し、生産性の向上と経費の削減に努めました。また、海外子会社においては、各国政府の要請により生産活動を一時停止していましたがニュージーランド子会社やフィリピン子会社も現在は生産活動を再開し、通常稼働しています。今後、各国子会社とも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況次第では再度の操業規制等の可能性があります。

こうした状況の中、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、43,346百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は1,545百万円（前年同期比22.7%増）、経常利益は1,358百万円（前年同期比37.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は803百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

#### ①住宅建材設備事業

住宅建材設備事業では、2020年4月から5月の緊急事態宣言中、外出自粛要請などの影響からショールームの臨時休館、顧客訪問の自粛など営業活動の制限を余儀なくされましたが、オンラインを活用した商談・説明会等を開催し、新しい生活様式に対応した接客・商談を推進しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による住宅、住まい方に対するお客様の新たなニーズ（テレワークのためのワークスペースの確保、室内換気の充実、玄関への手洗い設置など）に対して、「WITHコロナ」での住まい方の提案資料『NEW NORMAL, NEW LIFE』を作成し、販売促進に活用しました。2020年5月の緊急事態宣言解除以降はオンライン営業に加えて、感染防止対策を行いながらの対面営業も可能となり、内装建材のトータル受注を推進するなど営業効率を高めた販売促進活動を進めました。第3四半期においては、健康・癒しの空間に無垢材を提案する「おうち充実キャンペーン」の実施、ショールームからのライブ配信（ウッドワンプラザ大阪・名古屋・博多）、360°バーチャルショールームの公開（ウッドワンプラザ仙台・大阪・博多）など、新たな営業手法をタイムリーに織り込み、顧客接点の増強に努めました。

また、5月に5つの新色を追加した無垢の木のキッチン「スイージー」や「無垢ピノアース建具」の新デザイン商品、主力床材商品「コンビットグラード」、「ブラッシングオーク」に抗菌・抗ウイルス加工を施した商品、豊富なカラーとサイズを揃えて、木口までしっかり仕上げることで施工現場の時間短縮を可能とする「仕上げてる棚板」などの新商品の販売促進にも努めました。

重点商品では、無垢商品で「無垢の木の収納」などが好調に推移しており、また、職人不足が課題となっている建築現場の生産性向上を目的とした省施工商品では「ジャストカット階段」や「天井野縁システム」といった商品で前年を上回る実績となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における住宅建材設備事業の売上高は42,392百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は1,327百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

## ②発電事業

発電事業では、本社敷地内に設置している木質バイオマス発電設備について、既存設備を最大限活用するため5月に発電出力を引き上げたことで売上高が増加しました。木質バイオマス発電は、森林から直接産出する「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料としており、加えてフィリピン子会社の端材等も燃料用に加工して輸入するなど安定的に燃料調達を行っています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における発電事業は、売上高が973百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益が218百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における連結財政状態は、為替の影響もあり、前連結会計年度に比べ資産が7,710百万円増加、負債が4,603百万円増加、純資産が3,107百万円増加しました。

資産7,710百万円の増加は、流動資産が1,578百万円、固定資産が6,132百万円増加したことによるものです。流動資産1,578百万円の増加は、主に現金及び預金が1,107百万円、その他(流動資産)が348百万円増加したことによるものです。また、固定資産6,132百万円の増加は、主にインドネシア子会社の新規設備投資や為替の影響から建物及び構築物が529百万円、土地が2,223百万円、立木勘定が2,241百万円増加(実質187百万円の増加。為替の影響で2,053百万円増加)したことによるものです。

負債4,603百万円の増加は、主に新型コロナウイルス感染症対策やインドネシア子会社の新規設備投資のため有利子負債が4,676百万円増加(実質3,818百万円増加。為替の影響で858百万円増加)したことによるものです。

純資産3,107百万円の増加は、主に利益剰余金が516百万円、その他有価証券評価差額金318百万円、為替換算調整勘定が2,077百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月30日に公表いたしました業績予想の通りです。なお、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第で予想数値は変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,614	7,722
受取手形及び売掛金	7,389	7,562
商品及び製品	3,968	4,009
仕掛品	1,733	1,589
原材料及び貯蔵品	6,020	6,073
その他	675	1,024
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	26,385	27,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,809	7,338
機械装置及び運搬具(純額)	4,402	4,381
土地	13,399	15,622
立木	14,021	16,262
その他(純額)	4,008	4,828
有形固定資産合計	42,642	48,434
無形固定資産	691	792
投資その他の資産	10,968	11,208
固定資産合計	54,303	60,435
資産合計	80,688	88,399
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,406	3,493
電子記録債務	2,559	2,456
短期借入金	7,145	8,058
1年内償還予定の社債	—	300
未払法人税等	520	98
引当金	316	3
その他	2,940	2,759
流動負債合計	16,890	17,170
固定負債		
社債	3,300	3,000
長期借入金	20,476	24,239
繰延税金負債	291	789
引当金	396	339
退職給付に係る負債	1,128	1,141
その他	1,708	2,113
固定負債合計	27,300	31,623
負債合計	44,191	48,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	22,042	22,558
自己株式	△2,121	△2,121
株主資本合計	34,765	35,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	466	784
為替換算調整勘定	585	2,662
退職給付に係る調整累計額	△160	△109
その他の包括利益累計額合計	891	3,337
新株予約権	157	149
非支配株主持分	682	836
純資産合計	36,497	39,604
負債純資産合計	80,688	88,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	49,460	43,346
売上原価	34,868	30,170
売上総利益	14,591	13,176
販売費及び一般管理費	13,332	11,630
営業利益	1,259	1,545
営業外収益		
受取利息	34	8
受取配当金	63	57
受取賃貸料	139	139
為替差益	127	205
その他	117	111
営業外収益合計	483	523
営業外費用		
支払利息	266	277
売上割引	321	289
その他	167	143
営業外費用合計	755	710
経常利益	987	1,358
特別利益		
固定資産売却益	2	6
投資有価証券売却益	51	0
新株予約権戻入益	8	10
その他	38	—
特別利益合計	101	17
特別損失		
固定資産売却損	1	0
投資有価証券売却損	98	—
操業休止関連費用	—	37
その他	41	10
特別損失合計	141	47
税金等調整前四半期純利益	948	1,328
法人税、住民税及び事業税	197	197
法人税等調整額	132	316
法人税等合計	330	514
四半期純利益	618	813
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	625	803

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	618	813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	318
為替換算調整勘定	△514	2,221
退職給付に係る調整額	13	50
その他の包括利益合計	△388	2,589
四半期包括利益	229	3,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272	3,249
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。